

## 6 重点化対象事業等

「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指して、緊急かつ積極的に取り組むべき4つの重要課題を定めました。これらの重要課題に沿って、実施計画以外でも重点的に予算化して推進すべき事業に財源を集中的に配分し、メリハリの利いた予算編成を行いました。

### 重要課題(1) 地域の安全・安心の確保

生活安全パトロール委託の充実・強化

1億4,319万円

危機管理室 / 生活安全課

#### 実施態勢

青色回転灯を装着した生活安全パトロール(通称:青パト)については、引き続きフルタイム2人乗車とし、24時間365日、区内全域のパトロールを実施していきます。

#### 態勢の強化

本年度は、下校時の子どもの安全を確保することや、夜間に帰宅する女性等への凶悪犯罪などを防止するため、下校時間帯から夜間帯(15時から23時まで)におけるパトロールカーを1台増車(3台→4台)して警戒態勢を強化します。



生活安全講演会の実施

6万円

危機管理室 / 生活安全課

P T A や防犯ボランティア団体などを対象に、子どもに対する犯罪防止に向けた講演会を2回開催し、区民の防犯意識の高揚や防犯対策の強化を図ります。

## 住区センターへのAED配置

669万円

危機管理室 / 防災課

心停止（心室細動）への応急救護手段として有効なAED（自動体外式除細動器）を住区センターに設置します。住区センターの管理運営を行う住区住民会議の方や住区センターを利用する地域の方がAEDの操作を含めた救命講習会を受講できるようにし、日常の応急救護体制を充実させ、区民の安全対策を推進します。

## 児童館・学童保育クラブへのAED配置

333万円

子育て支援部 / 子育て支援課

心停止の応急救護に効果的なAED（自動体外式除細動器）は、救急救命補助用具としてその効果が認められ、かつ低年齢の児童まで利用できるようになったことに伴い、児童館、学童保育クラブにおいて、来館者及び入所児童並びに近隣の方の心停止（心室細動）のような緊急事態に対応するため、AEDを各児童館・学童保育クラブへ設置します。

併せて、児童館・学童保育クラブ職員が積極的にAED操作を含めた救命講習会を受講し、日常の応急救護態勢を充実させ、子どもの安全対策を推進します。



## 住宅用火災警報器の無償設置

1,229万円

危機管理室 / 防災課

東京都の火災予防条例により、既存の住宅は住宅用火災警報器の設置が22年4月から義務付けられます。区では、20年度に引き続き、全員が65歳以上の世帯、障害者の方がいる世帯に対して、一世帯1台の住宅用火災警報器の無料設置を行います。

緊急地震速報システムの整備

4 7 9 万円

危機管理室 / 防災課

気象庁から発信される緊急地震速報の情報を活用し、保育園や児童館、学童保育クラブの子育て支援施設に拡充配信します。

応急対策用備蓄物資等の整備

2 , 3 5 6 万円

危機管理室 / 防災課

食糧品等の整備

災害時要援護者用食糧、被災者用下着セット等を備蓄目標量に基づき整備します。

資機材等の整備

災害時用マットの整備や、老朽化した炊飯器・発電機・備蓄品の順次入れ替え等を行います。

ろ水機の整備

災害時に使用するろ水機が老朽化したので、更新します。

新型インフルエンザ対策

1 , 6 7 1 万円

健康推進部 / 保健予防課

新型インフルエンザの患者は、発熱外来のある医療機関を受診します。医療機関の発熱外来設置を支援するため、施設整備費の補助や防護服の支給を行います。

また、区民の方が新型インフルエンザを正しく理解し、備えていただけるよう、パンフレットを作成し、全戸に配布します。外国語版（英語、中国語、韓国語）のパンフレットも作成します。

私立幼稚園における安全安心の確保

6 6 0 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

私立幼稚園の安全安心確保のため、防犯カメラの設置・インターフォンの整備など安全対策に関する経費を補助します。

豪雨対策の推進

500万円

都市整備部 / 都市計画課

地域の安全・安心の確保のために、近年の降雨形態の変化や都市化の進展を踏まえ、河川流域対策などの総合的な治水対策の内容について検討し、豪雨に対する目黒区の基本的な考え方を取りまとめます。

補助 46 号線沿道まちづくりの推進

1,827万円

都市整備部 / 都市整備課

道路整備と一体となった沿道まちづくりの推進（地区計画の法定手続き、不燃化促進事業導入手続き、共同建替え勉強会・個別相談会等の開催）を行います。

防災ヘリサインの標示

72万円

危機管理室 / 防災課

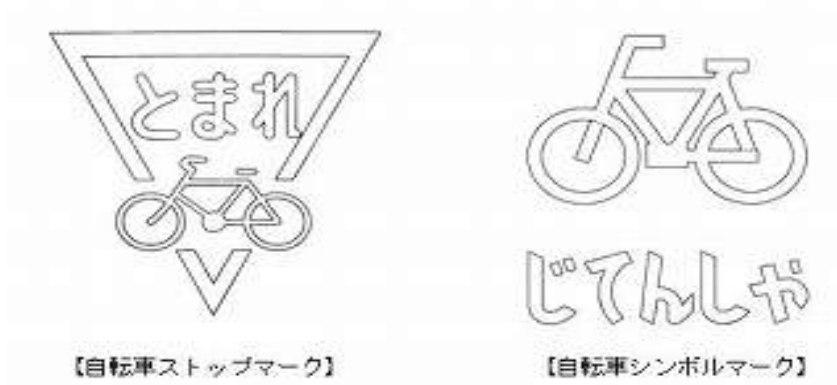
ヘリコプターが飛行位置を確認できるように学校の屋上に特殊塗料を用いて学校名を標記します。

自転車走行環境の改善

189万円

都市整備部 / 土木工事課

自転車シンボル・ストップマークの計画的な新設及び維持管理をします。



遊具の安全対策（公園・児童遊園） 700万円

都市整備部 / みどりと公園課

20年8月に改訂した「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（国土交通省）」等に基づき、遊具の安全対策を進めます。

危機管理対応用安全装備品の拡充 383万円

危機管理室 / 防災課

災害時に必要となるヘッドライトや防塵めがねなどの安全装備品及び対策本部用消耗品等を整備するとともに安全靴を更新します。

教職員向け安全ハンドブックの作成 133万円

教育委員会 / 企画調整課

教職員が平時から高い危機意識を持ち、有事の際に迅速な対応が取れるよう、学校におけるさまざまな危機を想定した手引書を作成します。

## **重要課題（2）暮らしのセーフティネットの充実**

健康増進型設備への助成 1,000万円

産業経済部 / 産業経済課

介護予防の観点から、東京都の健康増進型浴場改築を計画する公衆浴場に整備費の一部を助成します。

健康づくりガイドブックの作成 150万円

健康推進部 / 健康推進課

坂を中心とした散歩コースを設定し、楽しく気軽に運動習慣が身に付けられ生活習慣病予防に役立つガイドブックを作成します。

特定不妊治療費助成 500万円  
健康推進部 / 保健予防課

高額な医療費がかかる特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）について、東京都特定不妊治療費助成事業の決定を受けた方に、自己負担の一部を助成します。

1年度限度額 10万円。

介護サービス事業者の質の向上 82万円  
健康福祉部 / 介護保険課

介護保険サービス利用者に安心してサービスを利用していただくために、ケアマネジャーに対する実務経験に応じた研修の実施及び具体的な事例を検討するケアプラン検討会を開催することで、ケアマネジャーの質の向上及び底上げを図ります。

地域包括ケア推進体制の整備 1億4,791万円  
健康福祉部 / 地域ケア推進課

すべての区民を対象とした地域包括ケアシステムの地域拠点として、機能を拡充した新たな地域包括支援センターを開設します。

介護サービス基盤の整備支援 3億8,839万円  
健康福祉部 / 高齢福祉課

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けていくために、地域で支えていくサービス基盤となる認知症高齢者グループホームなどの「地域密着型サービス」を整備し、介護保険サービスの充実を図ります。

21年度は区の第4期介護保険事業計画の初年度であり、国の交付金等を活用した介護基盤整備補助の実施に加えて、区有地等の活用により、事業者の参入を促進します。



介護保険居宅サービス等利用者負担額軽減事業 1,694万円  
健康福祉部 / 介護保険課

低所得者で要支援・要介護の方を対象とした区独自の介護保険利用者負担軽減事業を引き続き実施します。

対象事業：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護の11事業  
軽減率：5%（本人負担5%）

75歳以上高齢者実態調査の実施 250万円  
健康福祉部 / 高齢福祉課

在宅の75歳以上の高齢者の生活状況などを20年度から3年間で民生委員の訪問により調査し、実態把握をします。併せて民生委員活動の周知を図り、高齢者に関する福祉サービスを案内します。

高齢者緊急ショートステイ事業の実施 882万円  
健康福祉部 / 高齢福祉課

介護者の急病や冠婚葬祭等、突発的な事由により、一時的に介護が困難になった場合等に、有料老人ホームのベッドを確保して、緊急ショートステイとして利用できるようにします。

高齢者の社会参加・生きがいづくり普及啓発 156万円  
健康福祉部 / 高齢福祉課

中高年の社会参加や生き方に関する意識啓発のための講演会などを開催します。

ふれあい・いきいきサロン事業の実施 404万円  
健康福祉部 / 高齢福祉課

商店街の空き店舗を利用し、高齢者など近隣の住民が気軽に立ち寄り集うことができる居場所を地域に作り、仲間づくりや交流の場を確保します。

高齢者の見守り・孤立防止

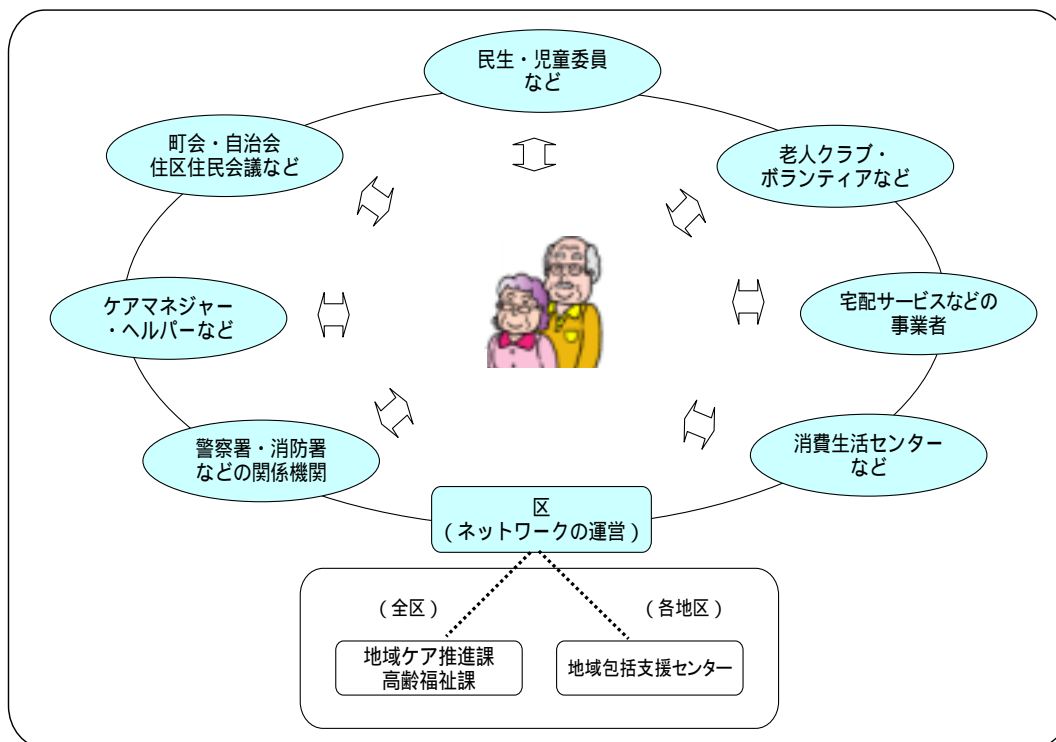
256万円

健康福祉部 / 高齢福祉課・地域ケア推進課

ひとりぐらし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、認知症高齢者の地域ケア、高齢者虐待の防止、消費者被害・振込め詐欺の防止など、高齢者が地域で安全・安心に暮らしていくために、さまざまな面で「地域での高齢者の見守り」が必要とされています。

このため、高齢者を地域で見守る共通基盤として「高齢者見守りネットワーク」を構築するとともに、定期的な訪問などで高齢者を見守る「高齢者見守り事業」の実施、孤立防止の普及・啓発などの施策を進めていきます。

高齢者見守りネットワークのイメージ



自立生活支援ヘルパーの派遣

73万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

介護保険で継続的にヘルパーの派遣を利用していた方が、要介護認定で「自立」と認定された場合に、一定の期間ヘルパーを派遣し、自立した生活への移行を支援します。



地域支援事業（包括的支援事業・任意事業）の実施 5 1 2 万円

健康福祉部 / 地域ケア推進課

認知症対策を推進するため、認知症についての理解促進のための啓発活動や、ボランティアの養成などを行います。

高齢者虐待防止を推進するため、関係者研修会や事例検討会などを行います。

介護者支援を推進するため、介護者交流の場を創出するとともに、認知症家族会への専門家の派遣などを行います。

地域支援事業（介護予防事業）の実施 3 8 6 万円

健康福祉部 / 地域ケア推進課

介護予防事業への参加が必要と判定された高齢者を訪問し、介護予防教室への参加や訪問型介護予防事業の利用を勧奨する「特定高齢者への訪問事業」を実施します。

介護予防教室を修了された方を対象に、区内の体育館などの施設を紹介する「ガイドツアー」を実施します。

通所施設利用促進等助成 1 , 6 1 4 万円

健康福祉部 / 障害福祉課

通所施設の利用を促進するため、通所施設利用者に対して自己負担額の一部を助成します。

高次脳機能障害者支援促進 4 1 0 万円

健康福祉部 / 障害福祉課

事故や脳血管障害により記憶障害・言語障害などの高次脳機能障害となった方に対する相談、就労訓練などの支援事業をNPO法人に委託して実施します。

障害福祉施設の受注仲介事業の実施 5 8 2 万円

健康福祉部 / 障害福祉課

区内障害福祉施設（民間施設を含む）で働く障害をもつ方の工賃水準を向上させるため、企業から施設への作業受注仲介や施設の自主生産品の販路拡大に取り組みます。

## 視覚障害者支援の基盤整備

120万円

健康福祉部 / 障害福祉課

点字プリンターや点訳ソフトなどを購入し、視覚障害をもつ方に点字による情報提供をしていきます。

## 学童保育クラブ利用児童受け入れ枠の拡大

4,660万円

子育て支援部 / 子育て支援課

学童保育クラブ利用児童の受け入れ枠を概ね60人まで拡大して待機児の解消を図り、併せて、障害児等の受け入れ枠を拡大し、児童の安全な居場所の確保と保護者の就労促進につなげます。同時に、受け入れ枠の拡大に伴い、新たな非常勤職員や臨時職員の配置により雇用拡大を図ります。

## 中央町二丁目（仮称）児童館の整備

974万円

子育て支援部 / 子育て支援課

旧第六中学校を改築して22年度に新設される児童館・学童保育クラブの開設準備に要する経費を計上します。

## 私立幼稚園補助の充実

1,872万円

子育て支援部 / 子育て支援課

幼児教育における私立幼稚園の重要性に鑑み、私立幼稚園の経営の安定化及び健全性を確保し、保護者負担の抑制を図るため、私立幼稚園協会に対する補助金を充実し、既定経費と合わせて2,925万円を補助します。



子ども総合計画の策定

1,052万円

子育て支援部 / 子ども政策課

目黒区子ども条例に基づき、目黒区子ども総合計画を策定します。計画策定に当たり、子どもの参画を求めています。

認証保育所（A型）の増設

8,922万円

子育て支援部 / 保育計画課

20年度に公募・選定した認証保育所2施設に対し、受入児童の年齢区分に応じた運営経費補助を行います。

また、新たに認証保育所1か所を誘致し、開設する事業者に対し、施設整備に要する経費を補助します。

認証保育所等利用児の保護者に対する保育料助成

2,844万円

子育て支援部 / 保育計画課

認証保育所などの利用者の負担軽減を図るため、低所得世帯を対象とした保育料助成を行います。

小学校校庭の人工芝化

2億1,699万円

教育委員会 / 学校施設計画課

校庭を人工芝化することにより、雨上がりなどでも、速やかに校庭を利用できるようになり、児童の体力向上に寄与します。



## 学校運営協議会制度の推進

3 2 3 万円

教育委員会 / 教育改革推進課

20 年度に学校運営協議会制度を導入したモデル校 2 校（鷹番小学校、田道小学校）に対し引き続き支援を行い、保護者や地域住民の意見を直接学校運営に反映し、信頼される学校づくりをさらに進めていきます。

## 自然宿泊体験教室事業の調査・実施

9 8 4 万円

教育委員会 / 企画調整課・指導課

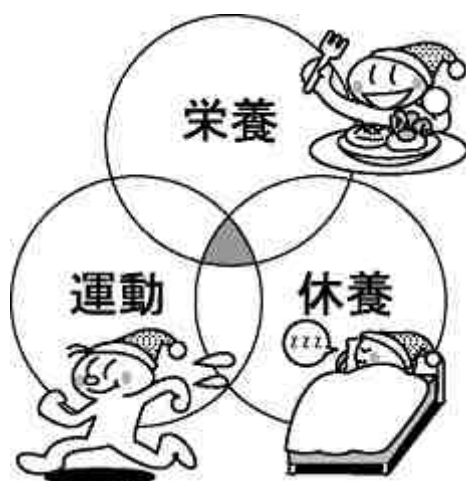
児童生徒の宿泊型体験学習の充実を図るため、小学校 3 校で八ヶ岳林間学園を活用した新たな宿泊事業を先行実施します。また、宮城県角田市、気仙沼市との交流事業の拡大に向けた準備及び調査を行います。

## 健康教育の推進

1, 6 8 0 万円

教育委員会 / 学務課・めぐろ学校サポートセンター

区立小学校の 4 年生全員を対象に生活習慣に関するアンケートや定期健康診断の結果から、将来起こり得る生活習慣病の危険因子を有する可能性のある児童に対して、日常生活上での問題点を改善するよう指導していきます。また、個に応じた健康課題改善に係る専門員を配置し、担任や養護教諭、学校栄養職員などと連携を図りながら、子どもの健康課題改善を目指していきます。



子ども対象の伝統文化事業の充実

9 2 万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもたちに日本の伝統文化に触れる機会を提供するため、夏休みいけ花・茶の湯スクール、夏休み子ども将棋教室、夏休み子ども囲碁教室を継続実施します。



放課後フリークラブの拡充

2, 4 2 0 万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもが校庭で自由に遊べる「ランドセルひろば」を 22 小学校全校に拡大し、学校・PTA・地域などが連携し実施する「子ども教室」を 2 か所追加して実施します。

**重要課題 ( 3 ) 地球と地域にやさしい環境づくり**

環境配慮型自動車の導入

5 8 2 万円

総務部 / 総務課

環境負荷の低減を図るため、老朽化した集中管理車 2 台をハイブリッドカーに買い替えます。

区内河川の環境改善（目黒川・呑川の環境対策）

5,602万円

都市整備部 / 土木工事課

目黒川・呑川の環境改善を図るため清掃回数を増やします。また、目黒川は河床をならし、土砂の堆積を防止するとともに、堆積した土砂の処分をします。



区内河川の水質改善（目黒川浄化対策実験）

3,354万円

都市整備部 / 土木工事課

品川区と連携して目黒川の悪臭や白濁化の要因を除去するため、高濃度酸素溶解水を供給する浄化装置を設置し、水質を改善する実験を委託します。

(☞58ページ)

路上喫煙禁止区域指定事業の推進

328万円

環境清掃部 / 環境保全課

新たな地域の指定に向けた準備や、現在路上喫煙禁止区域に指定している3地区（中目黒駅、自由が丘駅、学芸大学駅周辺）で、集中パトロールを実施します。

地球温暖化対策の推進 238万円

環境清掃部 / 環境保全課

区民の方や区内事業者などが参加する目黒区地球温暖化対策地域協議会とともに、目黒区地球温暖化対策地域推進計画に基づき、温室効果ガスの排出削減に向けた様々な取組みを推進します。

住宅用新エネルギー機器導入補助 242万円

環境清掃部 / 環境保全課

地球温暖化対策の一環として、環境への負荷の少ない自然エネルギーや高効率のエネルギー供給システムの普及を図るため、これらの機器の設置費用の一部を補助します。

地域のグリーン化の推進 49万円

環境清掃部 / 環境保全課

目黒区独自の環境配慮行動プログラムである「めぐろグリーンアクションプログラム」の普及を図るため、参加者、参加企業等を中心に交流会を実施します。

また、学校版を公立小中学校全校に導入したことに伴い、内容を見直して新たなパンフレットを作成します。

普及版MeGAプログラムの作成（家庭版） 184万円

環境清掃部 / 環境保全課

環境に配慮した行動を普及するため、めぐろグリーンアクションプログラム(通称MeGAプログラム)家庭版をより多くの方が参加できるように、取り組みやすい内容で作成していきます。



目黒区環境学習推進計画事業の実施

291万円

環境清掃部 / 環境保全課

20年度に引き続きモデル事業(生ごみ堆肥化機械借上げ・チームマイナス6%学習会など)、公募事業(区民のアイデアによる取組みを支援)を実施し、環境学習をより一層推進していきます。



めぐろ買い物ルールの特典

232万円

環境清掃部 / 清掃リサイクル課

ごみを作り出さないくみのPRを行います。

めぐろ買い物ルールソング「ごみごみ あ!ミーゴ」のイベント実演や商店街連合会加盟店等へ配布する買い物ルールガイドブック、PRグッズの制作を行います。



ごみの排出実態調査の実施

633万円

環境清掃部 / 清掃リサイクル課

プラスチック製容器包装などの資源回収と、廃プラスチックのサーマルリサイクル(熱回収)の本格実施から1年後の定着状況を調査するため、集積所でのごみ組成分析などを実施します。





事業系ごみの適正排出の推進

60万円

環境清掃部 / 清掃リサイクル課

分別変更の普及や適正な排出方法の向上に向けて、事業者用のチラシ及びパンフレットを作成します。



資源とごみの分別徹底のPR

335万円

環境清掃部 / 清掃リサイクル課

20年10月に資源とごみの分別を変更しました。本年度は、新しい分別変更の定着期間として、より一層の周知活動を実施します。周知活動の内容としては、東急バスにおける車内放送や、分別の悪い地域の単身集合住宅居住者向けパンフレットの作成配布を実施します。また、資源とごみの分別変更後1年経過した時期に、区報臨時号を発行するなど重点月間として広報活動を行います。

保育園の壁面緑化

134万円

子育て支援部 / 保育課

緑のカーテンによるエアコン使用頻度の抑制、空気の浄化、地域環境の改善のため、区立保育園5園の壁面緑化を実施します。

## 学校施設の壁面緑化

680万円

教育委員会 / 学校施設計画課

小学校5校の施設の壁面を緑化し、夏季における校舎の温度上昇を防ぐとともに環境教育に寄与するなど、環境に配慮した教育の一助とします。

**重要課題(4) 地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み**

## 目黒区シンクタンクの設置の検討

32万円

企画経営部 / 政策企画課

区の政策形成主体としての能力を強化・向上していくため、シンクタンクの設置されている自治体での実施状況などを調査し、目黒区シンクタンクの設置に向けた検討をします。

## ホームページを使った戦略的情報発信

95万円

企画経営部 / 広報課

ホームページの特質(即時性、可変性、長期掲載など)を生かして、区民の求める情報をわかりやすく効果的に提供するとともに、目黒区の魅力を高める情報の発信に努めます。このため、現行ホームページを利用者の視点に立って分析し、改善を図ります。



## ワーク・ライフ・バランスの啓発

85万円

総務部 / 人権政策課

区民・区内企業経営者などを対象とした、ワーク・ライフ・バランスシンポジウムを開催します。

ワーク・ライフ・バランス：「仕事と生活の調和」

## 観光まちづくりの推進

3,866万円

産業経済部 / 観光・雇用課

区では、にぎわいと活力あるまちの実現を目指し、区内産業の振興を図るため、17年3月に「目黒区観光ビジョン」を策定しました。

観光ビジョンに掲げられた施策を効果的に進めるため、区民、事業者、関係団体から成る「目黒区観光まちづくり推進協議会」が主体となって実施する「地域特性を活かしたリーディングプロジェクト（目黒川さくらフェスタ、自由が丘観光プロジェクトなど）」を支援します。

また、人々の交流の促進、情報の収集・発信、事業の企画・立案や企業協賛、観光ボランティアなどの人材育成等、より柔軟な発想と行動力により、多岐にわたる課題を解決するために、目黒区にふさわしい民間活力を活かした推進組織を設立します。



## めぐろブランド研究・開発支援

189万円

産業経済部 / 観光・雇用課

目黒区観光ビジョンに掲げる「めぐろらしさ創造プロジェクト」を推進するため、目黒にしかない独自のものの再発見や、街の個性を引き立たせる「文化の薫り高い、おしゃれな街・目黒」を象徴する“めぐろブランド”の創出に向けた研究・開発に対し支援を行います。

駒場公園文化財保存管理等計画策定

2,702万円

都市整備部 / みどりと公園課

区立駒場公園内の「旧前田侯爵家駒場本邸（洋館を除く）」は、20年3月26日に東京都指定有形文化財に指定されたことから、東京都文化財保護条例に基づき、今後の適切な保存及び管理に関する保存管理計画を策定していきます。



「グラウンドワークやまのて」との共同研究

278万円

環境清掃部 / 環境保全課

産官学民の連携により地域課題を研究する場として設立された「グラウンドワークやまのて」に対し、「目黒川周域地域の環境整備と魅力の創設」に関する調査等を委託するほか、フォーラムを共同で開催します。

区内教育機関との連携

19万円

教育委員会 / 企画調整課

区内の教育機関と連携して生涯学習講座を実施します。

めぐろアートウィークの開催

210万円

教育委員会 / 企画調整課

区に関係のある芸術家の公演や区民が芸術文化活動に参加する機会の提供などを区民・団体、区内公私立芸術文化施設と連携して実施します。



地域の人材の活用

14万円

教育委員会 / 指導課

外国籍の地域人材を活用した外国語絵本の読み聞かせや異文化の紹介などを、小学校の要望に応じ、地域で活動する団体と協働で実施します。